

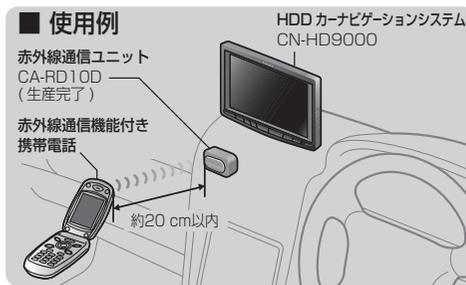
赤外線通信

■ 赤外線通信とは

- 携帯電話とナビゲーションの間で、赤外線通信によるデータの送受信ができます。
- 赤外線通信を行うには…
 - ・ **赤外線通信ユニット (CA-RD10D：生産完了)** が必要です。
(取り付けかたは、CA-RD10Dの取付説明書をご覧ください)
 - ・ **赤外線通信機能付き携帯電話**が必要です。
(対応携帯電話機種については、下記をご覧ください。)

■ 赤外線通信をするときは

- 携帯電話の受信状態が良い、安全な場所に停車させてから操作してください。
- 携帯電話の赤外線ポートを赤外線通信ユニットに向けて、20 cm以内の距離で行ってください。
- 携帯電話を手を持つ場合は、ぶれないようにしっかりと持ってください。
- 携帯電話の赤外線ポートと赤外線通信ユニットの間をふさがらないでください。
- 赤外線通信ユニットに直射日光があたっているときは、正常に送受信できない場合があります。



■ 通信機能一覧

通信機能	
ナビゲーションの電話帳データを携帯電話に取り込む	① 電話帳データの取得：ナビゲーションの登録ポイントや検索した施設の電話番号を取得
携帯電話の電話帳データをナビゲーションに送信する	② 電話帳データの送信：携帯電話の電話帳に登録されている名称・電話番号をナビゲーションに送信

■ 対応携帯電話機種について

- NTT ドコモ製 Panasonic 携帯電話



- 赤外線通信機能は、IT ナビゲーションシステム研究会のDIM2フォーマットに準拠しています。
(DIM2：Data Interface Specification for Mobile Multimedia)
- 「DIM2」およびDIM2ロゴマークは、ITナビゲーションシステム研究会の登録商標です。

電話帳を利用する

① ナビゲーションの電話帳データを携帯電話に取り込む

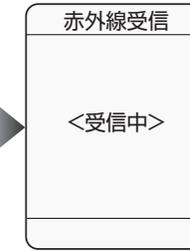
ナビゲーションで電話番号情報を携帯電話に送信したい施設を検索する



【お知らせ】

- 個人名検索で個人宅を検索した場合や、検索した施設に電話番号の情報が無い場合は、施設の電話番号情報を携帯電話に送信できません。

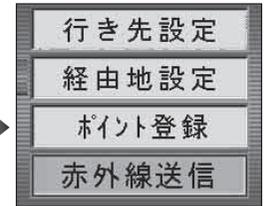
携帯電話を赤外線受信(認証なし)にする



【お知らせ】

- 赤外線受信モードは、しばらくすると解除されます。(解除されるまでの時間は、機種により異なります。)

ナビゲーションのサブメニューから「赤外線送信」を選ぶ



- 施設の電話番号情報が携帯電話に送信され、電話帳データとして保存されます。
保存される情報は以下の3点です。
 - ・ 名称
 - ・ 電話番号
 - ・ 緯度経度
(電話帳のノート欄に保存されます。)

② 携帯電話の電話帳データをナビゲーションに送信する

電話帳データを選び、サブメニューを表示させ、「赤外線(1件)送信」を選ぶ



電話帳の名称・電話番号で、ナビゲーションにポイント登録されます。



- 通常は地図の中心にポイント登録されます。ただし、電話帳のノート欄に緯度経度情報(「N35.41.39.04;E139.45.23.00」など)がある場合は、その地点に登録されます*。

*携帯電話の機種によっては、ノート欄に緯度経度の情報があっても、自車位置またはカーソル位置に地点登録されます。